

グループインタビュー（神戸に在住経験のある東京圏若者）

		①女性	②男性	③男性	④男性
○自己紹介パート	・神戸在住期間	仕事：自動車メーカーの広報 在住期間：幼少期から26歳ぐらいまで（大学の時、一時大阪に在住）	仕事：webエンジニア（webサービスの開発） 在住期間：24年 就職のために3年前に東京へ	仕事：映像関係 在住期間：高校卒業まで（18歳） 大学進学を機に東京へ 美大の映像学科に進学。関西では映像の仕事は限られるので、将来的なことを考えて転出。	仕事：大学院（経営学MBA 去年から東京圏） 在住期間：生まれてから、大学二年生まで その後は西宮市へ転出
	・転出理由、時期（どのような条件が整えば転出しなかったか）	前職は神戸だが転職を機に東京に。（2019年の1月から） できれば関西圏から出たくなかったが、本社機能が東京に多いため移住。	東京に行ってみなかった。 東京の方が仕事のチャンスが多かった。 東京の家賃を考えると、フルリモートワークなら関西に残ったかもしれない。	神戸・関西に映像関係の仕事がもっとあれば残ったかもしれない。	神戸から西宮：西神中央に住んでいたが、交通の便が悪く西宮に転居 東京に出た理由：志望する大学があったため
○本編パート	・現在の神戸の印象（外から見た強み、課題）	・強み：住みやすさ。東京は人が多すぎる。東灘区に住んでいたが、家賃が高くない割にアクセスが良い。山と海があるのも良い。 ・弱み：仕事・プライベートでの選択肢が少ない。本社機能がある会社が少ない。	・強み：海・山がある。ブランド力がある（出身の話をしたときに、他の地方の人から引きが強い）。 ・弱み：観光する場所が少ない。絶対に行ってみようというところがない。横浜があるので、関東の人は関西に来れば大阪・京都に行ってしまう。	・強み：住みやすさ。程よい都会・大きい田舎。 ・弱み：観光する場所がない（人に勧められる場所が少ない）。良くも悪くも大阪ありきになっている。新幹線の駅が少し遠い。	・強み：暮らしやすさ。住み心地はよかった。適度に栄えていて、人が多すぎない。 ・弱み：遊びたい、学びたいとなると東京・大阪になり、神戸では物足りない。 関東圏の人にとって、神戸は印象が薄い。 大阪からの交通の便がよいが、それだけならば大阪に住めばよいという話なので、それを超える何かが必要なのでは。
	・新型コロナウイルスで変わった価値観 ⇒職場環境の変化や将来的な意向（在宅勤務やリモートワーク） ⇒東京圏に住むことのデメリット、メリットに対する意識の変化 ⇒東京圏以外（特に神戸市）への移住の意向 ⇒移住（や神戸への里帰り）に向けた不安	・半年近くほぼ出社していない。在宅勤務で支障はない。通勤時間が減ってよい。（往復1時間半ぐらい） ・公共交通機関に乗らなくなった。 ・もし関西に本社機能が移るようになれば、移住したいとは思っている。フルでテレワークになり、地方に移住できるような制度ができれば、移住する。 ・一方で、東京も人出が減って、東京で住むストレスは減っている。	・職場が半年間フルリモートで、今後も継続の予定。フルリモートになったので、会社の同僚もいろいろなところに転出している（神奈川など）。 ・福岡は勢いがあるって、文化が違うので一度住んでみたい。 ・神戸から東京に出てきて、東京は楽しい・にぎやかとを感じるので神戸は退屈するかもしれない。（イベント・レジャー施設は東京が一番最初にできる。池袋・渋谷・新宿の人の多さは、梅田・三宮とは比べ物にならない。しかも朝まで人出が絶えない。）	・今はフリーランスだが、5月までは現場がストップし、仕事がなかった。今は通常通りに戻っている。 ・東京以外に出てしまうと、仕事がなくなってしまう。リモートでできることは限られている。 ・将来的に家族・子供ができたとき、東京で子育てしたくないので、リモートで仕事ができるようになれば神戸に戻るかも。（須磨で育ったので、都会育った子どもがどうなるのかと思う。空気のきれいなところで子育てしたい。）	・大学院がオンライン化しているが、コミュニケーション・モチベーションの維持が難しい。 ・完全オンラインになるのは難しいと思う。本社機能はやはり東京に残ると思われるので、東京で就活する。（人事・経営企画など本社系の仕事に携わりたい） ・実家が2世帯なので、東京から帰るのはためらわれる。
	・東京圏の若者に神戸市をPRするには	・神戸の鉄道会社で働いていたので、観光施設のSNSなどをフォローしているが、神戸の写真を見て、いいなと思っている。 ・東京に住んでいる人に神戸をお試して体感してもらう取り組みを見たことがあるが、良いと感じる。東京の人たちは仕事に疲れている印象がある。地方移住に興味を持っている人が多い。2～3年前に神戸市がやっていた取り組みに今なら行ってみたい。 ・神戸の田舎はスローライフを送りながら仕事ができることをPRしては。 ・東京は疲れた人が多く、キャンプが流行っている。緑が多く、キャンプができるイメージを付けていければいい。	・IT企業を誘致しようとしているのは良い取り組み。神戸が先進的なITの街となれば、違うブランドイメージになると思う。京阪神が新たなシリコンバレーのようになれば、人が集まるのでは。 ・おしゃれなスポットが増えれば、大阪・京都ではなく神戸に来てくれるようになると思う。 ・神戸の家賃が安くなれば、大阪にもアクセスが良いので人が集まるのでは。	・神戸といえばサッカー（ヴィッセル）ががんばっている。神戸は昔からあるライブハウス、映画館など文化が根付いている。厚みが増すと、仕事も増えていくのでは。	・神戸のPRを見た記憶がない。 ・横浜とどう違うのかというのが、東京の人が感じていることなのでは（元町中華街は横浜にもある）。
	・神戸から若者が転出しないようにするには、神戸へU・Iターンしてもらうには、	・20代の若者はやはり仕事・大学が要因になるが、U・Iターンについては、30代中盤・後半など、ライフスタイルが変わったときに刺さるポイントを抑えることが大事だと思う。	・ITの誘致では、和歌山県が白浜にサテライトオフィスを誘致していた（働き方改革と掛け合わせてPRしていた）。いいなと思ったが和歌山か…とも思った。その点、神戸は都会感があり、ちょうどよいのではないかと。IT×都会×働き方改革で推しだすといい。 ・クリエイターへの支援を行って、お金を出してあげれば、夢のある若者が集まってくるのではないかと。	・都会さでは、東京には絶対勝てない。街を便利にする・大きくするだけではなく、文化的な土壌を豊かにしていくことで、個性が出て、神戸の魅力が高まっていくのではないかと。	・やはり転出する・しないを決めるのは、仕事・学業が一番の要因。何でもかんでもやるのではなく、他都市との差別化ポイントが必要。暮らしやすさを打ち出し、明石市は子育て支援で若者世代を呼び戻している。これが良いといえるポイントを押し出すことが大事なのではないかと。

		⑤男性	⑥男性	⑦男性	⑧女性
○自己紹介パート	・神戸在住期間	仕事：食品メーカー 在住期間：18歳まで（大学進学を機に神戸を出た）	仕事：銀行員 在住期間：高校卒業まで（18歳まで）	仕事：航空会社 在住期間：大学卒業まで（22年）	仕事：アパレル会社のデザイン部門 在住期間：高校卒業まで（18歳）、専門学校は大阪。就職先が神戸だった（4, 5年）。その後東京（2年目）へ。
	・転出理由、時期（どのような条件が整えば転出しなかったか）	・徳島の大学に進学。 ・就職後は大阪に3年、東京は4年目。 ・異動で東京へ（東京の本社へ） ・ご縁のあった会社の本社が東京だったため（ネスレなども受けていた）。	・大学4年間は東京 ・就職後は仙台（2年）→東京（2年目） ・政治の勉強をしたい、レベルの高い大学に行きたい ・就職先が神戸であればうれしかったが、神戸に帰るということは優先事項ではなかった。	・東京へのこだわりはなかった。神戸にある会社と絞ると選択肢がなかった。自分が行きたい会社で神戸本社の会社があれば残ったかもしれない。 ・航空・物流に関心があったが、神戸には自分が行きたい規模の会社がなかった。	・夫の転勤、自分が転職したいタイミングで東京へ。 ・アパレルの会社で大きな会社が関西にないので、必然的に東京になった。
○本編パート	・現在の神戸の印象（外から見た強み、課題）	・神戸はコンパクトでいい（南京町・王子公園・海・山など）。地元は名谷だが、三宮まで一本で行けて便利だった。 ・いいところがあるのに外に見られていない印象がある（2番手感、アピール不足）。 ・地元の話をしたとき、有名な食べ物がパッと出ない（お土産に買って帰るものがない）。	・街が山・海に挟まれていて、バランスがいいところが強み。 ・水がきれい。 ・魅力的なところが多いにもかかわらず、発信力が弱い。関東圏から観光に行く際に、京都・大阪には行くが、神戸に行く理由がない。 ・大阪の中心に通勤している人も多いと思うが、神戸の西側から通勤しようと思うと、三宮で乗り換える必要があるのでは、直通で行ければよい。	・狭い範囲で用事が完結するのが良い。成田空港の近くに住んでいたが、周りに何もなくて不便だった。 ・写真を見れば神戸とわかるような、観光面の知名度がある。 ・神戸は発信力が低い。大阪はトップの発信力が強い。 ・西神中央に住んでいたが、東京から帰省の際、神戸空港から西神中央まで帰るのがしんどいと感じる。大阪に通う人にも負担なのではないか。	・住みやすい。人も多すぎない。 ・周りに神戸出身という、おしゃれっぽいと思われる。 ・どこに連れていけばいいかわからない。異人館に行っても一日は持たない。 ・帰省の際、新神戸で降りるとめんどくさい。実家は摂津本山だが、新大阪で降りた方がスムーズに帰れる。
	・新型コロナウイルスで変わった価値観 ⇒職場環境の変化や将来的な意向（在宅勤務やリモートワーク） ⇒東京圏に住むことのデメリット、メリットに対する意識の変化 ⇒東京圏以外（特に神戸市）への移住の意向 ⇒移住（や神戸への里帰り）に向けた不安	・週2、3は在宅勤務。緊急事態宣言時は約1か月間在宅勤務。会社の理解も必要だが、今の会社に勤めながら、神戸でも働けるならばぜひそうしたい。 ・将来的にはぜひ神戸に帰りたい。	・在宅勤務ができると分かった。 ・家賃が高いので、東京に住み続けるうえでネックになる。在宅でいいのであれば、東京以外に住んだ方が経済的。 ・将来的には神戸に帰りたい。 ・帰省に関しては、特に不安はない。	・空港で働いているわけではないので、在宅勤務（月一出勤ぐらい）を続けている。仕事は人事なので問題ない。 ・仕事ができると分かったので、会社が許すならば、神戸に身を置きたい。神戸は住みやすく、住み慣れた街であるという理由が大きい。 ・6月に神戸に帰ったが、コロナに対する温度感が東京とは違い、ゆっくりできなかった。	・週2回まで出勤後は在宅（デザインの仕事）。 ・気軽に遊びに行けなくなった。 ・隙があれば帰りたいが、仕事をしているので難しい。転職になればうれしいが、関西圏では自分の仕事がないので、働くなら異業種になってしまう。 ・人の雰囲気が違う。関東の人は周りに興味がない感じがする。関西の方が居心地がいい。
	・東京圏の若者に神戸市をPRするには	・新神戸に帰ったとき、地下鉄に降りるエスカレーターでムービーが流れており、イニエスタや戸田恵梨香など有名な人が出ていた。他の地域は、有名人と関係を強固にして、発信してもらっている。有名な人が多くいるので、発信してもらえば、地元民としても誇りに思う。	・インスタ、tictok、youtubeなどを使えば、見ている人が多いので影響力があるのではないか。コストがかかるわけではなさそう。 ・旅行に来てほしいのか、住んでほしいのかどどの層に訴えるのが重要。 ・東京圏から関西に遊びに行く人は多いので、宿泊先に神戸を選んでもらうようなPRすればいいのではないかと。	・神戸市のfacebookを見ているが、地下鉄の整備や図書館の整備などの情報が出ている。これを見れば、若者は住みたくなると思う。しかし、facebookは興味のある人しか見ないので、発信方法が課題。今は関東住みやすい街ランキング2位の印西市に住んでいえるが、ランキングに名を連ねていけば、人々が目を向けるのではないかと。 ・ドラマの舞台にしたら、聖地巡りなど若者を呼び込めるのでは。	・SNSはインスタしか見ないが、神戸市のインスタは見たことがない。メトロにある冊子も見なかった。 ・何を紹介すればいいかわからない。ハーバーランドも異人館も若者向けではない。 ・住んでいる場所の近くにフロントレの本拠地があるが、試合の日は大盛り上がりですごい（ユニフォームを着ていればサービスを受けられるなど）。ヴィッセル神戸にはそこまで感じなかった。
	・神戸から若者が転出しないようにするには、神戸へU・Iターンしてもらうには	・食品関係で働きたかったのが、本社が東京にあることが多かった。友人は救急のレベルが高い病院があったため、高知の病院に就職した。神戸にも日本唯一の企業があると思うので、情報発信をすればいいのではないかと。 ・食べ歩きが好きで、食べ物を優先して旅先を決める。神戸の飲食店は高価な印象がある。リーズナブルなお店をもっと発信してもらえるといい。	・若者が流出するのは、学校選びと仕事選びのタイミング。給料が高い仕事・やりたい仕事を優先すると思うので、どうやって神戸に仕事を作れるのかという話になってくる。 ・神戸にも大きな企業があるが、自分の意思決定でUIターンするのは難しい。 ・大阪への通勤の利便性も重要。	・企業が少ないので、企業誘致を進めるべき。本社を誘致するのではなく、支店・支社を誘致すべき。 ・川崎重工・神戸製鋼も外から見ると東京中心になっている。働く軸が神戸に少ないと感じる。住みやすくても、仕事があれば帰れない。	・旅行に行く場所を決める際に、食事は大きな要因。東京は飲み屋街が多く、大阪にも天満がある。神戸にはそういうエリアがない。 ・本社が神戸のアパレル系の会社はあるが、デザイン部門は東京にしかない。